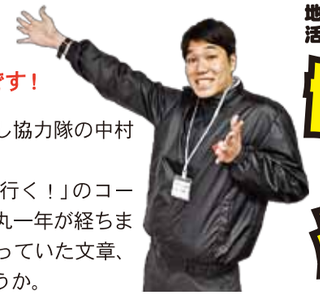
地域おこし協力隊活動レポート

協力隊が行く！



今月の担当は りんね隊員です！

こんにちは、地域おこし協力隊の中村琳音です。

昨年初めて「協力隊が行く！」のコーナーに記事を書き始めて丸一年が経ちました。最初は苦手だと思っていた文章、少しは成長できたでしょうか。

かつおまつり

かつおまつりは、こどもの日と初鰹の時期が重なることから、子どもの健やかな成長を枕崎の特産品である縁起魚「かつお」にあやかろうと始められた祭りで、今回38回目の開催でした。4年ぶりのかつおまつりは、曇り・雨の予報でしたが、朝から晴れ間が見え最後まで雨が降らず、天気に恵まれた祭りになりました。

内港の駐車場や外港の臨時駐車場は、終日満車。来場者数は約2万人と大盛況でした。新型コロナウイルス感染症の流行により何年もイベントを自粛する状態が続き、皆さん祭りを心待ちにしていたのではないでしょうか。私も懐かしい祭りの雰囲気にテンションが上がりました。ステージ上では、かつおの一本釣り大会やかつお節削り大会が行われ、子どもたちの一生懸命な姿が会場を盛り上げていました。火の神乙女太鼓「爽」の演奏・本市で開催される国体競技なぎなたの演舞・ダンス・よさこい・合唱団など市民団体も来場者を楽しませていました。さらにラストのかつおパックつかみ取り大会は、始まる前から行列ができ用意されたかつおパックはあっという間になくなりました。

私は枕崎観光協会の職員として、スタンプラリーのパンフレット配布と会場撮影をしました。来場者が祭りを楽しんでいる様子を見ると、新型コロナウイルス感染症の流行前に戻ったような空気感に感動しました。

梅雨が過ぎれば

梅雨が過ぎれば、枕崎で過ごす2回目の夏が来ます。今年はたくさん、日に焼けたい。海や入道雲など夏ならではの景色を撮影したい。たくさんイベントに参加したい。やりたいことが押し寄せてくる夏。ひとつも逃さず最高の夏にしていきたいと思います。

枕崎の夏のお祭りといえばばらん海！今年のさつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつりは8月5日(土)・6日(日)の2日開催することが決定しました！2日間開催は何年ぶりなのだろうかと思い、調べてみるとなんと4年ぶりの開催。今年の夏もきばらん海の様子を撮りにいきます。あの感動を撮り逃すことなくカメラに収めたいと思います。枕崎で花火を撮るならここがいいよ！というスポットを知っている方は、ぜひインスタグラムに連絡をお願いします！

市長コラム vol.50

農水と土木

6月を迎えて、梅雨から台風シーズンへと向かっていきます。近年の異常気象等による自然環境の変化は時として、大きな自然災害をもたらしています。昨年も、全国各地で災害が発生しました。改めて、「備え」の大切さを再認識しなければなりません。

しかし、ここにきて人口減少・少子化、あるいは高齢化によって、この「備え」のための力量が減少している危機を感じています。

私たちの暮らしの中で、自然との共存、そして災害への対応は、人間が生存していく上での切り離すことのできない営みです。海、山、川といった自然と身近な暮らしの中では、自然の恩恵をいただき農業、水産業を営み、荒ぶる山や川を治めるための治山・治水といった土木の力を駆使して、暮らしを守ってきた地域が、ここ枕崎に限らず日本のいたるところにあります。わが国は、この治山・治水の力に支えられ成長してきた歴史があります。

しかし今、その力を発揮すべき人材や知見が不足している現状があります。農業の後継者であり、土木の専門家であり、作業員であり、なかなか、確保に苦労している地域の現実があります。

政府はリスキリング(技術革新やビジネスモデルの変化に対応するために、新しい知識やスキルを学ぶこと)といった学び直しや、雇用の流動化、労働移動の推奨など進めようとしてはいますが、もっと地方の実情をきめ細かく観察し、国土を俯瞰して、首都圏一極集中やグローバル志向をいま一度省みて、国のあるべき姿を見つめ直す時が来ているのではないかと感じます。

地方からも、そういう声を上げていかねばと考える、この季節です。

枕崎(まく)×人(ひと)×仕事(しごと)　No.29

薩南製糖株式会社／仁田浦町

「枕崎×人×仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。

今月は、市内で唯一の製糖会社の薩南製糖株式会社を取材しました。

内山　裕人(ひろと)さん　(45)

薩南製糖株式会社は、昭和39年に創業し、来年創業60年を迎える市内で唯一の製糖会社です。奄美諸島や沖縄産の原料を主に、時代ニーズに合ったきび砂糖や含蜜糖(糖蜜分を含む砂糖)ほか各種砂糖製品を製造しています。今回は、薩南製糖株式会社で働く内山裕人さんを取材しました。

大隅出身の内山さんは、地元の高校を卒業後、県外の学校に進学。その後県外で工業製品等の製造会社に就職した後、結婚を機に枕崎へ移住しました。

完成した達成感を味わうことができる「ものづくり」が好きだったことから薩南製糖株式会社へ就職した内山さんは、製造ライン等のオペレーターとして製造部に配属され、後に品質保証部へ。現在は品質管理課長として工場や製品の品質管理、お客様対応などの重責を担っています。

内山さんが働く上で仕事の魅力を強く感じたのは、2019年。食品安全マネジメントシステムに関する国際規格「ISO22000」の認証取得に挑戦したときだったと振り返ります。「部署を横断したプロジェクトチームを立ち上げ、通常業務の合間を縫って何度も集まり一つずつ課題をクリアしていきました。苦労の甲斐あって認証取得となったときは、嬉しさのあまり届いた認定証を両手に掲げ、チームのメンバーにお礼と報告をして回りました」と話します。

プライベートの楽しみは、3人のお子さんの成長を見守ること。社会人、高校生、中学生とそれぞれのステージで感じることを話してくれるのが嬉しいと目を細めます。

今後の目標は、「家族のような職場環境をつくること」という内山さん。「30人と多くはない社員数なので、仕事のこともプライベートのことも気兼ねなく話せる関係を築き、チームワークをより強くしていきたい」と話しました。

スポーツ・文化イベント情報

南溟館

開　9:00～17:00
※入館は16:30まで

休　毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問　スポーツ・文化振興課
℡72-9998

女子硬式野球の選手募集中！

5月14日に市営野球場で開催した九州女子硬式野球リーグをはじめとして、女子硬式野球へのチームづくり等の取り組みを進めています。

野球に興味のある方、プレーをしたいという方の参加をお待ちしております。

▲5月14日に初めての練習試合を実施

●問合せ　地域おこし協力隊員　今　愛沙
℡76-6151(総合体育館)

「果ての鉄道展」プレ展

指宿枕崎線全線開通60周年、枕崎駅舎10周年を記念して、8月11日から南溟館で開催される特別企画展「果ての鉄道展」。その事前ＰＲ展として、鉄道に関する写真などを展示する、プレ展を開催します。

●会期　6月20日(火)～7月27日(木)
※月曜日休館

●会場　南溟館

●観覧料　一般200円、大学・高校生100円、中学生以下無料

道路で動物の死骸を見かけたら市役所までご連絡ください　℡76-1097